

動物公園の冬の風物詩「サル山でたき火＆焼き芋タイム！」を開催します

千葉市動物公園では、現在27頭のニホンザルを飼育しており、冬の寒い季節は暖を取るために数頭で身を寄せ合って過ごしています。

そこで、サルに暖を提供するためサル山の中でたき火を行い、アツアツの焼き芋をサルに提供する「サル山でたき火＆焼き芋タイム！」を開催しますので、お知らせします。

1 実施日（全8回）

- 1月16日（日）～2月27日（日）の毎週日曜日
- 1月20日（木）（大寒）

※時間はいずれの日も10:30～11:30

※雨天、強風等の場合は中止となります。



たき火と焼き芋に興味津々のサル

2 場所

動物公園内 ニホンザル展示場 サル山

3 内容

サル山の中でたき火を行い、その中で焼いた芋をサルたちに提供します。

たき火に対してどのような反応を示すのか、また、アツアツの焼き芋をどのようにして食べるのかをご覧ください。

4 その他

たき火の実施は平成29年度から始まって今年で5年目となります。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小して実施したため、今年は2年ぶりの本格実施となります。

＜参考＞

ニホンザル（ホンドザル）について

1 種 目

靈長目オナガザル科

2 体 長

雄53～60cm、雌47～55cm

3 分 布

北海道を除く日本

4 特 徴

靈長目の中では、最も北に生息していて、複数のオスとメスを含む群れで暮らしています。尾は短く、体毛は茶褐色や灰褐色をしています。顔のほお袋には、食べ物を一時的に溜め込んでおくことができます。

5 当園での飼育数

雄10頭、雌17頭 計27頭